**学　位　論　文**

**題　目**

**執筆者　　GXXXX XX　XX**

**指導教員　　平石　広典　 教授　印**

足利大学　工学研究科

情報・生産工学専攻

終了年月 (西暦) 20XX年2月

**目次**

1. はじめに　　．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．2

2. おわりに　　．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．3

謝辞　　　　　．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．4

参考文献　　．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．5

1. **はじめに**

１ページ２５行，フォントサイズ１２PT,余白上35mm, 左右下30mm．

近年，様々なセンサが開発され，多様な分野で使用されている．過去に本研究室では座圧センサや脳波を検出することで被験者の体調や心的状態を把握する研究を行ってきた．今年度も例に漏れず，まだ使用したことの無いセンサを用いてどのように被験者の状態を把握できるか考えた．

1. **関連研究**

本章では，本研究に関連する関連研究や先行研究について説明し，本研究の意義や特色を明らかにする．

* 1. **〇〇に関する研究**

本研究で対象とする○○に対して，××を行なった研究がある．

* 1. **□□に関する研究**

本研究で使用する○○に対する先行研究として，××を行なった研究がある．

1. **おわりに**

本研究では，生体センサである心拍センサと発汗センサを用い，被験者の発汗量や心的状態の解析を行った．研究で行った実験で，複数人の被験者のデータを取得し，各作業時間におけるデータの比較を行ったことで，心的状態の把握という目的が達成されたと考えられる．

**謝辞**

修士課程の研究に着手してからの２年間，研究を進める上で平石先生にはたくさんのご指導をいただき，大変感謝しております．卒業研究のテーマに自分が興味を引く物を採用してくれたことがまさしく幸運だったと思います．また，同期の〇〇さん，〇〇さんには自らの研究もある中，被験者としてデータ測定に快く協力してくださり，先輩である〇〇さん，〇〇さんには測定，プレゼン作成においてのたくさんのアドバイスを頂き，大変お世話になりました．ありがとうございました．

**参考文献**

1. 宮城諒, 平石広典, "機械学習を利用した人間動作検出センサのための行動検出", 情報処理学会第77回全国大会, Vol.4, pp.313-314, 2015.3.
2. Hironori Hiraishi, "Designing a robot controller by using a simple brain-wave sensor and a machine learning technique", Artificial Life and Robotic, Vol.20, No.3,  pp.217-221, 2015.10.
3. Hironori Hiraishi, "Qualitative Analysis of Concentration Level in Throwing Using Simple Brain-Wave Sensor", International Journal of Cognitive Informatics and Natural Intelligence (IJCINI), Vol.11, No.3, pp.17-30, 2017.9
4. Hironori Hiraishi, "Scene-based qualitative analysis and modeling tool for situated cognition", 17th IEEE Int. Conf. on Cognitive Informatics and Cognitive Computing (ICCI\*CC2018), 2018.7.
5. 庄司尚矢, 平石広典, "簡易脳波センサを利用したルーティーンにおける集中度の解析", 情報処理学会第79回全国大会, Vol.4, pp.153-154, 2017.3.
6. 小野嵩晃, 平石広典, "電波強度と加速度センサーによるハイブリッドな位置推定方式", 情報処理学会第75回全国大会, Vol.3, pp.197-198, 2013.3.
7. 天野滉久, 平石広典, "行動履歴に基づく居室者状況予測システムの設計", 情報処理学会第76回全国大会, Vol.3, pp.195-196, 2014.3.